



# 愛知陸協広報

第52号

令和3年3月31日発行

一般財団法人 愛知陸上競技協会

〒460-0012 名古屋市中区千代田二丁目19番16号 ハレラニ千代田301号室

電話 (052) 249-4363 ファックス (052) 249-4366

ホームページ: url <http://www.aichi-rk.jp/>

## 令和2年度を振り返って

専務理事 稲垣 裕

通常であれば東京オリンピック・パラリンピックの話題で盛り上がる令和2年度であります。新型コロナウイルス感染症の影響で1年延期になったばかりか、国内主要競技会の国体、都道府県対抗駅伝、インターハイはじめ多くの大会が中止を余儀なくされました。競技会を目標にトレーニングを積んできたアスリートの皆さんに与えた影響は、計り知れないものがあったと推測します。

そのような状況の中、年度後半は大会再開の動きが見えはじめ、選手・監督の皆さんにやっと出場のチャンスが訪れ、大変な励みや刺激になったと思います。主な全国大会における本県選手の活躍の一部を紹介します。

まず、10月に新潟で行なわれた日本選手権では、棒高跳で山本聖途選手（トヨタ自動車）、円盤投で湯上剛輝選手（トヨタ自動車）、ハンマー投で古旗崇裕選手（中京大院）の三人が2位となり、延期されたオリンピックの出場に大いに期待がかかります。

次に、インターハイの代替大会として10月に行なわれた全国高等学校陸上競技大会では、中京大中京が男子4×100mR、男子4×400mR、女子4×100mRのリレー4種目中3種目に優勝する歴史的な快挙を成し遂げました。個人種目では、男子1500mで大塚直哉選手（豊川）が優勝しました。

また、日産スタジアムで10月に行なわれた全国中学生陸上競技大会では、男・女1500mにおいて杉田晃大選手（竜海）、小嶋聖来選手（六ツ美北）、女子四種競技で林美希選手（岡崎翔南）のそれぞれ3選手が優勝しました。

そして、全日本大学女子駅伝で名城大が圧倒的な強さで全国4連覇の偉業を達成しました。

以上のように本県では若い選手の成長が著しく、全国の舞台で結果を出しております。愛知陸協強化委員会をはじめ高体連、中体連、学連、実業団の指導者の方々の熱心な指導の賜物と理解しています。

盛り上がりを見せたウィメンズマラソンでは松田瑞生選手の優勝で幕を閉じましたが、大会までの準備から本番に至るまでコロナ対策に神経を使い苦労した大会となりました。

最後に、令和3年度は新型コロナウイルス感染症が終息し、オリンピック、パラリンピックでの日本選手勢の活躍を期待する年でありたいと思っています。また、パロマ瑞穂スタジアムの改築が始まり、競技会の中心は北陸上競技場に移ります。何かとご不便をおかけしますがご協力いただきますようお願いいたします。

## 万全対策で大規模マラソン実施

3月14日、名古屋ウィメンズマラソンが万全のコロナ対策を講じて実施されました。

シティマラソンと合わせて約1万人弱が走り、名古屋の春の風物詩の復活となりました。

結果は松田瑞生選手（ダイハツ）が強い風の中20・25Km途中経過（女子単独）日本記録の独走で、2時間21分51秒の素晴らしい結果でゴールを飾りました。



## 専門委員会報告

### 総務委員会

2021年度の登録が3月2日から始まりました。公認の陸上競技大会等に審判員・競技者として参加するためには、愛知陸協に登録し、日本陸上競技連盟の登録会員にならないとできません。手続きをお願いします。

既に愛知陸協HPでもお知らせしているとおり、2021年度より日本陸連が登録料を新たに設けました。これに伴い、従来の県陸協の登録料に上乘せをすることになりました。登録の際には、金額をお確かめの上で振込をお願いします。

2021年度の登録申請期間は、3月2日～11月30日（高校は10月30日）までです。

3年度の登録担当者・申請先（転勤等で、担当者の所属先が変わる場合があります）を掲載します。

#### 一般団体・個人

尾張	門脇 良佑	尾北高等学校
名古屋	赤司 学	名古屋市千種区自由ヶ丘2-16-1 シティコーポ自由が丘303
西三河	山村 晃泰	安城東高等学校
東三河	山本 誠司	豊丘高等学校

#### 大学生

全 県	愛知陸協事務局	052-249-4363
-----	---------	--------------

#### 高校生

尾張	浜田 倫昌	津島北高等学校
名古屋北	小林 諭	山田高等学校
名古屋南	小田垣充雅	名古屋女子大学高等学校
知 多	成田 稔	武豊高等学校
西三河	小野田 基	三好高等学校
東三河	中村 昭広	豊橋工科高等学校

#### 中学生（学校・クラブ・個人）

尾張	酒井 達哉	宮田中学校
名古屋	三浦 雅史	吉根中学校
愛日・知多	才賀 寛樹	日進中学校
西三河	細井 太郎	夏山小学校
東三河	岡田 淳史	青陵中学校

#### 小学生友の会

尾張	八代香津子	愛西市勝幡町字後田 397-2
名古屋	一力 俊雄	名古屋市緑区大將ヶ根 2-434 TSメゾンN102
西三河	小林 良博	岡崎市真伝吉祥 1-21-7
東三河	手嶋 修次	蒲都市緑町 16-19

(水野 隆夫)

### 競技委員会

コロナ禍の中、競技役員の方々に協力いただき、規制解除後の大会を無事終えることができました。ありがとうございました。

2020年度シーズンも名古屋ウィメンズマラソン2021を最後に幕を閉じます。残念ながら、穂の国・豊橋ハーフマラソン、読売犬山ハーフマラソンは中止になりました。多くの審判の方々に、ご心配とご迷惑をおかけしました。また、快く協力を頂きありがとうございました。改めてお礼申し上げます。

2021年度はパロマ瑞穂スタジアム改築が始まります。岡崎など新たな競技場もできましたが、各地区の競技会を合わせると過密ダイヤの日程で1年が始まろうとしています。2026年のアジア大会に向けて、若い審判の方々に力を付けていただきたいと思います。ベテランの方のご指導の下、愛知陸協全体で力を合わせて行きたいと思っています。是非ご協力宜しくお願いします。

各競技会に関して要覧に出っていますが、変更があるときもあります。申し込み等は、陸協ホームページで大会要項や競技注意事項をよく確認して間違いのないようにしてください。愛知陸上競技協会では、協会主催の大会において新ルールの適用を原則としています。しかし一部の大会では、特別なルールを適用する事もあるので大会要項や競技注意事項で確認をしてください。

一年を通して、愛知では一般から小学生の競技会まで幅広く陸上競技が行なわれています。多くの競技者が出場しそれを支える競技役員、競技補助員によって大会が運営されています。それぞれが協力し合って、競技者がよりよい環境で競技できるようにご協力をお願いします。

(榊原 茂)

### 施設・用器具委員会

#### 1. 2020年度後半の検定について（2月24日現在）

- ① 中京大梅村室内直走路検定（11月29日）高木委員長（陸連）、青木、南
- ② 第3種中京大梅村陸上競技場検定事前指導（1月8日）青木
- ③ 第3種中京大梅村陸上競技場一部変更（棒高跳）検定（1月9日）青木
- ④ 第4種L（4種の1ランク下の施設）安城市陸上競技場（緊急事態宣言中のため2月20日から3月27日へ変更予定）平川、南
- ⑤ 第3種豊橋市営陸上競技場検定（2月23日から3月26日変更予定）青木、平川
- ⑥ 第3種半田運動公園陸上競技場検定（2月28日から3月28日変更予定）青木、平川
- ⑦ 第3種瑞穂公園北陸上競技場一部変更（300mH 鉄）検定（3月予定）青木
- ⑧ 第3種瑞穂公園北陸上競技場検定事前指導（3月予定）青木
- ⑨ 第3種瑞穂公園北陸上競技場一部変更（逆走）図面指導（3月予定）青木

2. 2021年度の規則改正等に対する対応について、リモートでのセミナーが2月11日に開催されました。主なものをお知らせします。詳しくは、ルールブック2021で確認してください。

(1) 第1種陸上競技場の基本仕様、第2種陸上競技場基本仕様とも新設、既設の分類を廃止して、統一する。

## クラブ紹介④ SET PROJECT (セットプロジェクト)

2018年8月に発足した若いチームです。よく間違えられますが、セトプロジェクトではありません。セットプロジェクトです。「on your marks set」のセットと「瀬戸」をかけて名付けました。小学4年生から中学生までの50名程度が在籍しており、毎週水曜日と日曜日に瀬戸市民公園と幡山中学校を拠点に活動をしています。

中長距離を専門としていますが、小学生のうちは運動能力を上げていく為の練習を中心に行ない、将来世界で活躍できる選手の育成を目指しています。ジュニア期にリズムジャンプ、鬼ごっこやタグラグビー、そして「走・跳・投」全ての陸上種目を通じて、俊敏さ、巧みさ、バランス能力を身につけることに重点を置いています。ユース期からは脈拍を管理するなどして、適切な練習量や練習の質を考慮しながら競技力の向上を目指しています。また多くの専門家にも協力をいただいております、フィジカルの強化やメンタ

ルトレーニングも取り入れています。

今年度は、小学生においては愛知県大会では混合リレーで3位をはじめ2種目で優勝、2種目で入賞し、中学生も長距離種目において男女ともランキング上位者を出すことができました。現在は、陸上競技の魅力を伝える取り組みに力を注いでいます。毎月一回運動能力向上プロジェクトと題し、クラブ生が中心となって、より多くの子供達に体を動かす楽しさを伝える活動を行なっています。

これからも陸上競技を通じてより豊かな人生を送れる手助けをしたいと考えています。くわしくは下記のホームページをご覧ください。

ホームページ：<https://setproject.amebaownd.com>

連絡先メールアドレス：setproject2018@gmail.com

(河村恵梨香)



運動能力向上プロジェクト



チーム皆仲良しです

- ① 走高跳 A、Bゾーンのいずれかに3ヶ所以上、いずれかのゾーンに同時に2面で競技ができるように設置する。
  - ② ハンマー投の囲いの可動パネルと最前部の2mの部分のパネルの高さは9m以上、囲いの後部の網掛け部分は7m以上とする。ハンマー投の囲いで円盤投の囲いを兼ねることができる。
  - ③ 観客の収容人数15,000人以上、メインスタンド7,000人以上かつ屋根付きとする(2種は、5,000人以上、1,000人以上とし、屋根付きが望ましい)。
- (2) 公認陸上競技場に関する細則の改正
- ① ブルートラックでの青色マーキングは、赤色とすることが望ましい。
  - ② 第1、2種の三段跳の踏切板から砂場までの距離女子10m、男子13mは6ヶ所以上が基本であるが、少なくとも4ヶ所以上とし、同時に競技ができるように設置する。第3、4種の三段跳の踏切板から砂場までの距離女子7m、男子11mは開催する競技会及び地域のレベルに応じて踏切板を設置する。設置する踏切板が不足する競技場は、公認満了が2026年4月1日以降継続検定までに対応する。
  - ③ 走幅跳・三段跳での中央に助走路を設置した場合黄色マークを入れる。
  - ④ 「競歩用警告掲示板」から「競歩用掲示板」へ、「競歩警告円板」から「競歩用イエローパドル」、「競歩失

格用円板」から「競歩用レッドパドル」と名称変更をする。

- ⑤ 国際競歩審判員(IRWJ)が使用しているパドルの寸法を加える。ロスオブコンタクトのマークが違う。現在では、従来型も使用出来るが、IRWJを呼ぶ大会ではIRWJと同じパドルを使用すること。
- (3) その他の注意事項
- ① U16種目150m、145mのスタート位置(300mHの4台目、400mHの7台目)
  - ② 障害物競走等、グループスタートにおける代用縁石の置き方は、一本置きから全線に置くことに変更になる。
  - ③ 粘土板の粘土の角度変更(45度から90度へ) WA：2021年11月1日、国内：2022年4月1日よりへと適用開始時期が1年延期になりました。粘土板は、新ルール適用後も現在使用しているタイプが粘土を90度に成型できるため、そのまま使用する。
  - ④ 兼用サークル表面仕上げの追加  
買い替えまでの措置として競技場にある製品は、滑らないテープを貼ることで対応可としている。
  - ⑤ WA 認証コースの長距離競技会では、国際道路コース計測員が先導車に乗り競技者が同じコースを走っていることを確認しなければならない。陸連に派遣依頼を提出すること。
  - ⑥ 2022オレゴン世界選手権から男女の35km競歩が正式種目となる予定。

### 3. 北陸で公認競技会開催のための準備報告

2021年4月1日より北陸で競技大会が開催されます。北陸の整備要望書を名古屋市長に提出(2018年11月2日)して名古屋市教育委員会スポーツ振興課から、2020年4月1日より名古屋市スポーツ市民局と検討を粘り強く数回重ねた結果、以下の①～⑤が実現できた。

- ① 電光掲示盤の改修(2021年度予算)
- ② インカム、コンピュータシステムの運用における電気関係全面改修
- ③ 仮設倉庫400㎡の増設(大会器具搬出後、競技役員・補助員控室に使用し、空調をつけてもらった)



- ④ ウォーミングアップ場の確保(レク広場、全天候舗装路80m3レーン予算化中)
- ⑤ ホームストレートでの逆走電気配線(2020年度)と全天候舗装(2021年度予算化中)

まだ色々と不十分な点があるが、今後また継続して皆さんの協力を頂きながら少しずつ改善を名古屋市にお願いしていく。

\* 北陸整備会議と北陸への備品・用器具の移設に係る準備会議を、5月下旬から延べ35回開催した。名古屋市スポーツ市民局、瑞穂管理事務所、愛知陸協、ニシスポーツ、名邦テクノ、移設業者、廃棄業者、仮設倉庫設営業者、電気工事業者、空調工事業者と10関係団体との連携で進行している。

### 4. 愛知陸協関係移転作業等

- (1) 本陸ダンボール箱梱包作業(2月20日・27日)  
引越業者による本陸から北陸への移動(3月1日～5日)  
箱から指定棚等への整理と確認作業(3月6日・7日)  
ニシスポーツによる精密機器関係の移動作業(3月8日～11日)
- (2) テスト大会等(業者立ち会い)  
3月20日 県レベル機器使用訓練研修会 13:30～  
3月21日 名古屋地区プレシーズン大会  
3月28日 名古屋市中学校記録会(緊急事態宣言により2月から変更)

(青木 実)

## 審判委員会

2020年度を振り返って

2020年は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の急速な感染拡大により、日本陸連からの6月末までの競技会の中止・延期の協力依頼から始まりました。愛知陸協もその意を酌み、主催大会の6月末までの開催中止を決定いたしました。また、地区陸協の主催大会も、6月末までの開催を中止もしくは延期とすることいたしました。県大会・東海大会・全国大会等への出場を目指し、日々の練習成果を発揮すべき場を失った選手たちの無念さが目に浮かんでまいりました。

6月に入り、日本陸連より大会再開に向けての方針が示されました。審判委員会では、「大会開催にあたっての競技役員留意事項」を作成し、HPに掲載するとともに、審判委嘱の際にその旨を伝えることといたしました。そして、7月からの大会は補助審判員なしで実施いたしました。このような状況下での開催にもかかわらず、各大会において、必要審判員数を大きく上回る審判員の皆様からご協力の回答を頂きました。しかし、大会規模や予算面からお断りする大会が多くありました。せっかくのご厚意を無にしまい、申し訳ありませんでした。改めてご協力に感謝申し上げますとともに、ご都合をつけていただいたにも関わらずお断りしたことを深くお詫び申し上げます。

また、今年度のB級公認審判資格取得講習会は前期が中止となり、後期のみで開催となりました。そのため、多くの方々が受講されました。その結果、一般審判員49名、学生審判員46名、合計95名の方が、2021度より審判員として活動されます。新審判員の皆様が大会運営に当たられる際には、達成感や充実感が得られることを願っています。新しい仲間をお迎えする際には、皆様からのご指導をよろしくお願いいたします。

次に、今年度の審判資格昇級者についてお伝えします。例年の基準とは異なり、活動期間・審判講習会受講期間がともに6年となり、1年長くなりました。

今年度、S級・A級審判員に昇級されました方は下記のとおりです。おめでとうございます。上級審判員として、更なるご活躍をご期待申し上げます。

(敬称略)

S 級	深谷 晶彦	鈴木 康雄	新美 準人
	田中 輝彦	石井 哲郎	清水 文雄
	上原子昭三	森園 知博	小野田 隆
A 級	宮田英理子	原 菜緒美	小塚 康久
	加藤 智彦	成田 大	吉田 俊哉

今年度の「マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知」の審判については、新型コロナウイルス感染症拡大のため、事前に辞退連絡が複数入って来ていました。準備に入ってから、参加を辞退される方が大勢いらっしゃると予想していましたが、昨年とほぼ同数の651名の方がご参加くださいました。大会は10kmのホイールチェア・マラソン・フルマラソン・ハーフマラソンのレースが実施されました。大会運営のご協力に感謝いたします。ありがとうございました。来年度もよろしくお願いいたします。

(櫻井 一美)

## 選手強化委員会

新型コロナウイルスによる強化行事の中断が間もなく1年になろうとしています。全ての大会・合宿・練習会の実施ができないまま、この2月まで過ごしております。令和2年度強化指定選手に選考されました選手・関係者の皆様には、大変ご迷惑をお掛けしています。前号でご報告させていただいた強化委員会の新事業も、専門部を立ち上げ4名の先生方を中心に準備を進めていただいております。1日でも早いスタートができるよう頑張り、強化指定選手との日頃からのコミュニケーションを取れるようにしてい

たいと思います。一度途切れてしまった愛知県の選手強化ではありますが、来年度は創意工夫をしながら強化の再開をしていきたいと考えております。今年度国体強化指定選手および都道府県対抗駅伝強化指定選手につきましては、選手強化部強化指定選手認定証を作成し、お渡ししたいと思います。多くの場面で関係者の皆様にはご理解・ご協力いただくことと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

来年度に向け、一層の結束と強化を推進して参ります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

(明星 光信)

### 記録・情報処理委員会

#### トラックシーズンを終えて

競技会終了後の迅速な記録報告ありがとうございます。小学校で2件、データの送信がありませんでした。必ずデータの送信をお願いします。また、送信される前に、記録や競技者の氏名・学年、競技会コード、競技場コード等の確認をお願いします。今後の、U20、18、16といったカテゴリー管理のために、選手データの生年月日の入力もお願いします。

2020年11月1日から2021年2月28日まで、確認できた県新記録です。

#### 一般男子

1000m 2.40.23

池田 龍飛 (法大工連)

[小田原地区記録会 小田原城山 2020.11.22]

10000m 27.34.86

河合 代二 (トーエネック)

[日本選手権 長居 2020.12.4]

30km 1.29.31

藤本 拓 (トヨタ自動車)

[福岡国際(途中) 平和台 2020.12.6]

マラソン 2.07.26

聞谷 賢人 (トヨタ紡織)

[福岡国際平和台 2020.12.6]

#### 中学校男子

砲丸投 (6.000kg) 13.44

兵藤 拓郎 (3) (御幸山中)

[名古屋地区ジュニア競技会 瑞穂 2021.2.28]

#### 小学校男子

5年コンバインド A 1942点 (13.90 (+1.8) 1.25)

石川 湊真 (5) (JAC 武豊)

[県小学生交流大会 瑞穂 2020.11.3]

#### 中学校女子

走幅跳 5.99 (+1.6)

松村 琴都 (3) (TSM)

[名古屋地区ジュニア記録会 瑞穂 2020.11.8]

砲丸投 (2.721kg) 15.94

山田 真央 (3) (御幸山中)

[名古屋地区ジュニア競技会 瑞穂 2020.12.13]

#### 小学校女子

5年コンバインド B 1698点 (4.23 (-1.1) 33.46)

伊藤 里桜 (5) (大須 AC)

[県小学生交流大会 瑞穂 2020.11.3]

(石鎚 一則)

### 年誌資料・広報委員会

2年度は新型コロナウイルス感染防止のため51・52号のみの発行となりましたが、来年度は従来どおり発行する予定です。

#### 「愛知陸協広報」53～55号編集計画(案)

号数	発行月日	編集内容
「愛知陸協広報」53号	7/31	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会長のことば</li> <li>・専門委員会報告及び今年度の活動方針</li> <li>・4地区の活動状況及び今年度の活動方針</li> <li>・関係団体の活動状況</li> <li>・競技会報告(マラソンフェスティバル、国体選考、国体春季選抜、東海学生、県マスターズ、県高校総体、日本選手権、県高校定通、東海高校総体、県・東海混成、小学生リレー等)</li> <li>・理事会等会議報告</li> <li>・慶弔報告(協会会長表彰他)</li> <li>・連載                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホープさん<sup>④⑦</sup></li> <li>・クラブ紹介<sup>④⑦</sup></li> <li>・学校訪問<sup>④③</sup></li> </ul> </li> </ul>
「愛知陸協広報」54号	11/30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・副会長のことば</li> <li>・専門委員会報告</li> <li>・4地区の活動状況</li> <li>・関係団体の活動状況</li> <li>・競技会報告(愛知選手権、県中学通信・県中総体、東海中総体、東京オリンピック、全日中、県ジュニア、県高校新人、U20・U18、国体、県小学生等)</li> <li>・理事会等会議報告</li> <li>・競技会参戦及び観戦記(全国高校総体、国体他)</li> <li>・慶弔報告(秩父宮章他)</li> <li>・連載                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホープさん<sup>④⑧</sup></li> <li>・クラブ紹介<sup>④⑧</sup></li> <li>・学校訪問<sup>④④</sup></li> </ul> </li> </ul>

## 学校訪問④ 東浦町立北部中学校 全国中学生陸上4×100mR6位入賞

今回は、昨年10月の「全国中学生陸上競技大会2020」の4×100mRで6位入賞(43"42)を果たした東浦町立北部中学校を1月初旬の3連休初日に訪問しました。リレーのアンカーを務めた中山二千翔選手は、8月の県ジュニアオリンピックの100mで優勝(11"17)しており、3月に行なわれる大阪室内陸上の標準記録も突破しています\*。こうした活躍を繰り広げさせた強さの秘訣を取材の中から報告します。 \*大阪室内陸上U16の60m7"15で7位。(予7"08)

一つ目は、練習前の状況です。8時からの練習とお聞きしていたので、私は7時50分くらいに到着しました。既にその時にはサーキットトレーニングの器具がグラウンドに並べられており、部室前やグラウンド脇のベンチ周辺では選手たちがめいめいにストレッチ体操など練習への備えをしていました。もちろん、遅れてくる選手は一人もいません。当日は最低気温が氷点下という日でしたので、いきなり早い動きなどしようものなら故障を引き起こしてしまうことも考えられます。対応策だとも思いましたが、たまたま気温の下がった日だからというわけではないのでしょうか、平日頃からの流れに違いないと思返しました。いきなり強さの秘訣に出くわしたなと私は思いました。

練習前のミーティングでは「テーマ『寒さへの対応→W-アップの工夫』」と題されたプリントを顧問の日高徹先生が各選手に確認させていらっしゃいましたが、そこには先生の工夫がありました。ブロック別の本練習は9:30分前からになっており、そこまでの時間は体を温めるためのサーキットトレーニングに当てられておりました。状況に応じて練習内容を工夫しているからこそその成績だと思わずにはいられませんでした。サーキットのメニューにはC、Dと記してありました。シャフトジャンプ、メディシンボール腹筋、ミニハードルのスクエアジャンプ、ハードルジャンプ、パワースレッダー押し、タイヤ押し、片足ジャンプ、両足ジャンプ等々C、Dともに10種目ほどの内容だったでしょうか。当然A、Bもあるわけですから、数多くの種目が全身の鍛錬になりますし動き作りの補助にもなります。中学生は身体と神経の発達途上にあるのですから、このサーキットトレーニングは記録向上の大きな支えになっているはずです。

サーキットトレーニングの中で印象に残ったことを3点挙げておきます。1点目は、グラウンドの状態です。陸上部が主に使用しているあたりは、厚さが5センチほどでしょうか、表面が砂の層になってしまっています。走りにくいだろうなと思って先生とお話をすると、「ここでスパイクを履かせる意味が分からないぐらいです」とおっしゃっていました。しかし、タイヤ押しやパワースレッダー押しの様子を見てみると、この砂の層が逆に有効に働いているなと思いました。器具を動かすのに大きな負荷がかかります。その分強化が上積みされるのです。この点については、「砂浜トレーニングをしているようなものですよ」と先生はおっしゃっていました。



砂浜?トレーニング



日高先生の实地指導

2点目は、サーキットトレーニング中の先生の動きです。動きがうまくいっていない選手を見かけると、すぐに駆け寄って行って手本を見せておられました。口だけで手本を見せられない年配の私のような顧問では選手たちも実感を得にくいでしょうが、これは強みです。そしてこの手本、声掛けは、散らばってトレーニングをしている選手たちに満遍なくと言っていいほど施されていました。ここにも、今までに訪問した学校との共通点が見受けられました。好成绩を上げている学校は、多くが顧問の先生と選手たちの距離が近いのです。

ほぼ1時間半が経過してやっと5分の休憩があり、その後本練習に入りました。この1時間半の間、無駄口は一つも聞かなくてよかったと言っていいほど選手たちは集中して軽快な動きを見せていました。集中度の高さがパフォーマンスを生んでいるのでしょうし、集中度が高まるように練習内容が組まれているのだと思いました。

本練習は、短距離・フィールド組と中長距離組に分かれて行なわれました。日高先生は短距離・フィールド組の指導をもう一人の顧問の中野みゆき先生にゆだねて、中長距離組の指導に当たっておられました。中長距離組の本練習の中で、私はもう一つの「地の利」を目の当たりにしました。学校の外周道路850m×3がその内容だったのですが、この外周道路がそれです。外周道路は、急な上り→急な下り→緩やかな下り→フラットな直線と起伏に富んでいます。高低差は10m近いでしょうか。これはまさに地の利です。日高先生は、「このコースのおかげで、一昨年のシーズンに初めて男子が県の中学駅伝に出場できました」とおっしゃっていました。選手たちのパフォーマンスを押し上げているのは起伏に富んだコースもさることながら、それだけではないようです。日高先生が選手たちと一緒に走っておられたのです。お伺いしてみると、日高先生は市町村対抗駅伝の東浦町の代表選手に3年連続で選ばれている現役選手で、今でも1500mを4'03"ほどで走れるとおっしゃっていました。先生と一緒に走っていれば自然とペースも上がるというものでしょう。



外周道路



グラウンドの自主改修

最後にもう一つ、好成绩の一因と感じたことを挙げておきます。それは、自分たちの手によるグラウンド改修です。グラウンドの南側に側溝があるのですが、長い年月の間に手前のところが盛り上がり排水機能を失ってしまっています。そのせいで、雨上がりのグラウンド状態はひどいものさうです。そこで練習後に自分たちの手で盛り上がった側溝手前の土を掘り起こして運び、側溝と同じ高さにしようと作業していたのです。自分たちのことは自分たちの手でという選手たちの自主性と先生方の熱心な指導が相まって、北部中はいつその活躍を遂げていくことなのでしょう。そう思いつつ、私はグラウンドを後にしました。

(取材・文責・写真 大西敏功)

<p>「愛知陸協 広報」 55号</p>	<p>3/31</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専務理事のことば</li> <li>・専門委員会報告</li> <li>・4地区の活動状況及び今年度の反省</li> <li>・関係団体の活動状況及び今年度の反省</li> <li>・競技会報告（県・東海高校駅伝、 県中学駅伝、市町村駅伝、東海学 生駅伝、愛知陸協駅伝、全国高校 駅伝、都道府県駅伝、元旦競歩、 読売犬山ハーフマラソン、マラソ ンフェスティバル等）</li> <li>・理事会等会議報告</li> <li>・競技会参戦及び観戦記（都道府県 駅伝等）</li> <li>・慶弔報告（県スポ協他）</li> <li>・連載             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホープさん<sup>④⑨</sup></li> <li>・クラブ紹介<sup>④⑨</sup></li> <li>・学校訪問<sup>④⑤</sup></li> <li>・陸上競技場めぐり<sup>①⑦</sup></li> </ul> </li> </ul>
------------------------------	-------------	--

(新見 精三)



12月20日 長距離練習



1月10日 パロマ瑞穂にて

(谷 政人)

## 各地区報告

### 名古屋地区陸上競技協会

#### 陸上教室

令和2年度の陸上教室は、コロナ感染症の影響がありご迷惑をおかけしましたが、たくさんの方々のご協力により、わずかながら開催できました。

例年とは異なり、参加人数を絞り事前申し込みのみの開催としました。対象は小学生から高校生まで、例年よりは少し人数が減りましたが感染対策に配慮して、マスクの着用、消毒の徹底、体温管理表の提出をしていただきながら、令和2年度の競技会と同じく人数を絞り、短時間で密集を作らない対策を施して実施しました。

このような状況でも参加者や指導者の熱意を感じる場面を多く見ることができました。あらためてスポーツの大切さや陸上競技のすばらしさを実感しました。特に小学生がたくさん参加し、音楽に合わせて楽しく身体を動かしていました。自分の記録への挑戦とスポーツそのものを楽しませる工夫が見られ、見ている人も取り込まれました。指導者の思いや工夫に感服いたしました。例年の日本トップアスリートによるクリニックは取りやめましたが、愛知の陸上関係者の競技に対する意識の高まりに益々期待したいです。コロナ禍の影響で1月14日に愛知県下に緊急事態宣言が出ましたので一部（投てき）のクリニックが中止となり、ご迷惑をおかけしました。

今後もこの陸上教室がどんどん発展し、たくさんの方が陸上やスポーツに親しみ、競技力を向上していけることを祈っております。

### 尾張陸上競技協会

今年度の尾張陸上教室は12月13日（日）、1月9日（土）、2月6日（土）の3回、県営一宮総合運動場（いちい信金スポーツセンター）にて開催予定でしたが、コロナ禍のため競技者、スタッフの安全を配慮して中止としました。来年度は、何としても開催したいと思っています。

今年度最後の競技会である第68回尾張駅伝競走大会も、1月17日（日）に県営一宮総合運動場および周辺コースで実施予定でしたが、監督会議翌日に緊急事態宣言が発令され中止になりました。長距離選手には、競技会等で制限がかなり入り、活躍する機会が少なかつただけに断腸の思いでした。次回大会をいかに盛り上げていくか、早めに対応していきたいと思っています。

コロナ対応の中、競技会運営には慣れてきたとは言え、競技者、審判、スタッフと疲労が蓄積された一年でした。来年度が大きく変化するとは予測できませんが、陸上競技離れが進行しない対策を模索しつつ、準備をしていきたいと思っています。競技者、競技役員、スタッフの方々の協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

今回も尾張陸協の競技会運営上の工夫を紹介します。前号に引き続き、日本陸連のコロナ対策ガイドラインに沿った工夫の2回目です。

一つ目は、選手の入場時間に制限を設けたことです。例えば10:00開始の女子4×400mRの選手は、8:30から入場ができ、15:05開始の男子5000mの選手は13:35から入場ができるというようにです。原則競技開始時間の1時間30分前と定めています。もちろん、競技場内が人で密集しないようにとの目的ですが、入場の際の検温がスムーズに行なわれるようにとの意味もあります。そして全ての種目をタイムレース決勝とし、競技終了後に速やかに

競技場を離れることを求めています。表彰のある競技会では、各種目の最終組にエントリー記録のよい選手を集めて表彰状が手に渡るまでの待ち時間が少なくなるようにも工夫しています。

二つ目は、招集の面での工夫です。まず一つは、招集場所の変更です。従来はスタンド下の競技者係控室の前で行なっていたのですが、場所を広く取れるように用具類を選び出した後の倉庫前で行なうようにしました。それでも密になってしまいますので、同じ種目でも招集の時間を組によって分けました。たとえば12:30競技開100mの1~3組は、招集時間12:00~12:10、スタート地点集合時間が12:25。4~6組は、招集時間が12:10~12:20、スタート地点集合時間が12:35、というようにです。さらに、招集場所の机の前に1mおきに2本のテープを貼ってソーシャルディスタンスを保てるようにもしました。



以上の二つの項目は、大会前にホームページに掲載して周知を図っています。

最後に記録の掲示についてです。従来はベニヤの合板を4枚用意して、男女別にまたそれぞれにトラックとフィールドに分けて記録を掲示しておりました。男女の掲示板に距離を置いてはありましたが、それでもどうしても掲示板の周りは密になってしまいます。そこで掲示板での掲示を取りやめ、代わりにQRコードからスマホで読み取ってもらうことにしました。

来るシーズンにおいても、最大限の注意を払って大会運営に当たっていきます。

(青山 充資)

## 西三河陸上競技協会

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けたこの1年間でした。6月末までの全ての大会が、中止もしくは延期となりました。冬季練習で力をつけてきた選手達にとって、その成果を発揮する場が失われてしまいました。県大会等を目指し練習に取り組んできた選手たちの無念さが目に浮かんでまいりました。

7月からの大会開催に向けての準備が、6月から始まりました。選手・競技役員の方の安全と安心を確保した大会運営方法を考えなくてはなりません。今まで経験したことのない問題でした。まず、最初の競技会を実施する中学の先生方を中心に、多くの時間をかけて実施計画を完成させ、大会開催に漕ぎつけることができました。この間、他地区の先生方からも貴重なご意見をいただき、参考にさせていただきました。さらに、当地区は大会を複数の競技場

を使用して実施している関係上、どの競技場においても、この実施計画を基本にして、各競技場の計画も作成しました。労を惜しまず、ご協力くださった皆様に感謝しております。

冬場に入っても新型コロナウイルス感染症の勢いは収まることはありませんでした。全三河駅伝競走大会の開催も危ぶまれましたが、カテゴリーを東西三河に分け、トラックレースとして実施することといたしました。当地区は中学生男女を受け持ちました。男女とも全ての区間1500mとし、各チームの出場者上位5名の合計タイムで順位を決めました。優勝チームは、男子が岡崎市立城北中学、女子は岡崎市立矢作北中学でした。

しかし、この1年大変なことばかりではありませんでした。うれしいニュースもたくさんありました。まずは、前号で紹介しました「全国中学生陸上競技大会2020」において、優勝者を3名輩出しました。中でも、林美希さん(岡崎翔南中・TSM)は四種競技で中学新記録を樹立しての優勝でした。その他の全国大会においても、開催数が少なかったにもかかわらず、多数の皆さんが入賞されました。

(櫻井 一美)

## 東三河陸上競技協会

今シーズンを終えて

この1年は、新型コロナウイルスに翻弄された1年でした。2月に国内での感染者が増加し始めると、各地のマラソン大会やロードレースが次々と中止されるようになりました。それを受けて、当地でも穂の国・豊橋ハーフマラソンの中止を決定しました。

次に問題となったのが、4月からの大会を開催してもよいものかどうかということでした。4月第1週の豊橋リレーカーニバルは、3月19日が参加申込み締め切りなので、3月に入ったら東三河陸上競技協会のホームページに申込み要項をアップする必要がありました。東三河の役員会で中止した方がよいのか、参加料は当日払いにして参加だけ受け付ければ返金の手間が省けるので実施を前提に進めようなど様々な意見がでました。

そうこうしているうちに、2月27日に安倍首相が3月2日から春休みまで、小中高および特別支援学校を全国一斉臨時休業とするよう要請すると表明しました。春休みまで部活動が行なわれない状況での大会開催はできないだろうということで、4月当初の大会の中止を決定しました。

そして、3月24日には東京オリンピック・パラリンピックの1年延期が決定されました。4月3日には日本陸上競技連盟から4月~6月開催予定の大会の中止・延期の要請が出されました。その後、高校総体・中学総体・国民体育大会などの中止が次々と発表されました。

次の課題は、7月からどのような形で大会を開催するのかということでした。6月11日に日本陸連が発表した陸上競技活動再開のガイダンス策定のお知らせを基に、東三河陸協競技委員長の横地 勝先生を中心に高校の先生方が県高体連の先生方とも協議をして、コロナ感染防止対策を取り入れた大会開催の手順を細かく考えてくれました。競技場の密を減らすために1人1種目に参加制限し、競技の終わった競技者は速やかに競技場を出ること。受付では検温

と体調管理チェックシートの点検をするため密がしやすいので、競技場への入場時間を各競技開始2時間前とすることで時間差を設けて密を減らすこと。招集所の密を減らすために競技現場での招集とすることなど。こうして、7月23日の高校学年別競技大会を実施することができました。その後の大会も部分修正を加えながら無事に実施することができました。

コロナ禍の厳しい1年でしたが、10月16日～18日に横浜で行なわれた全国中学生大会には5校5名が出場し、佐藤侗有選手（田原東部）が女子100mで5位、竹森斗渉選手（豊橋中部）が男子400mで6位に入賞しました。また、10月23日～25日に広島で行なわれた全国高等学校陸上競技大会2020には3校3名が出場し、大塚直哉選手（豊川）が男子1500mで優勝、川島実桜選手（豊橋南）が女子800mで4位、新垣颯斗選手（桜丘）が男子400mHで7位に入賞しました。

令和3年度は、オリンピック・パラリンピックが実施され、日本中が盛り上がることを期待しています。

(兵藤 重二)

## 関係団体報告

### 小学生友の会

#### 【2020年度を振り返って】

本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響でシーズン前半の競技会が中止や延期となり、練習の成果を存分に発揮する競技会の開催がなかなかできませんでした。その中でも、日清食品カップ愛知県小学生交流大会と愛知県小学生選手権大会が開催できたことで、選手もモチベーションを上げて競技に取り組める環境を用意することができました。関係していただいた方々のご尽力に感謝申し上げます。

#### 【日清食品カップ愛知県小学生交流大会優勝者・優勝チーム】

種目	名前	記録	所属
6年男子100m	田澤桜二郎(6)	13.16	TSM 岡崎
男子コンバインドA	矢野 春樹(6)	2254点 (12.89、1m37)	JAC 武豊
男子コンバインドB	深津 輝瀧(6)	1896点 (4m23、43m23)	JAC 武豊
6年女子100m	佐藤 那有(6)	13.74	田原陸上
女子コンバインドA	蛭川 真奈(6)	2165点 (12.80、1m28)	成岩SC陸上
女子コンバインドB	伊藤 里桜(5)	1698点 (4m23、33m46)	大須 AC
混合4×100mR	橋本純之介(6) 杉山 惇人(6) 伏木 杏莉(6) 田中 咲有(6)	51.54	安城 JAC

#### 【2021年度に向けて】

“一人でも多くの小学生が陸上競技を楽しみ、そして関わり続けるために”。

一年延長し、2021年に東京オリンピックが開催されます。スポーツの祭典で日本中が盛り上がります。これを機にスポーツ文化のさらなる発展に寄与していなければなりません。また持続的に継続的に競技会を運営していかなければなりません。陸上競技に携わり生涯にわたり関わり続ける人は少ないのが現状です。競技者を終えて指導者、さらに競技会運営者や審判役員として陸上競技に携わり続ける人々を増やしていくことが急務です。児童が生涯にわたって陸上競技に携われる環境の整備や競技の魅力を味わう場の設定、保護者も取り込んだ競技会の運営など工夫していきたいと思います。今後とも小学生友の会へのご協力をお願いします。

小学校期は、「楽しく陸上競技の基礎をつくる（身体リテラシーの継続的な育成）」が求められています。学校体育や地域スポーツクラブなどでの活動を通して運動遊びやスポーツ活動に親しみ、楽しさを味わうことを重視する必要があります。また、走跳投種目を導入しながら、スポーツスキルと体力のバランスのよい発達を促すことによる身体リテラシーの育成も重要です。競技特性を味わい楽しく運動する場を多く設定していきたいです。

(佐々木博幸)

### 中小体連

#### 来シーズンへ向け

#### ●県中学駅伝

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症のため中止となりました。来年度以降は、開催場所を東三河地区（新城）から西三河地区に移して開催されます。令和3年度については、西尾市の「愛知子どもの国」での開催が決定しています。詳細なコースについては、後日各学校に配付される要項でご確認ください。

#### ●次年度に向けて

2021年度は、茨城県で全中が開催されます。中体連としては、一人でも多くの出場を目指していきたいと考えています。各学校感染対策の中ではありますが、それぞれの工夫を生かし学校の指導を中心として、さらに各地区の練習会や全県での協力体制が不可欠であると考えられます。

今年度は、陸協ジュニア部で実施していただいているジュニア強化練習会、さらに各地区の陸上教室や練習会などの多くが中止となり、練習の情報共有やモチベーション向上が難しい状況ではあります。このような状況であるからこそ、情報の共有方法を考えながら選手強化を行なっていきたいと考えています。

来年度のジュニアオリンピックカップU16は、愛媛県松山市で開催されることが決定しました。大きな変更点として、新種目として150m(各都道府県予選は145mで実施)と三段跳が加わることで、一部種目の参加標準記録が二種目においての突破が条件となることなど、大幅な変更がありました。出場を狙うためには、県ジュニアオリンピックの大会前までに、計画的に2種目にエントリーをし、標準記

録を突破しておく必要があります。

(佐橋 弘晃)

## 高体連

令和3年度に向けて

コロナウイルスがなかなか収束しない中、令和3年度のシーズンが始まろうとしています。大会が通常開催できなかった令和2年度を過ごし、令和3年度の大会運営もどのようになっていくか、不安要素がいっぱいで、ある意味見切り発車になるかもしれません。

その中でも、愛知県高体連は、選手第一でしっかりと運営をしていきたいと思えます。パロマ瑞穂スタジアム改修により、県大会を岡崎龍北スタジアムで開催することになりました。開催にあたり、西三河陸上競技協会様には多大なるご協力をいただきました。この場をお借りして、御礼申し上げます。令和3年度は、県内での大きな大会主管はありませんが、令和4年度に一宮で開催する東海高校駅伝の準備は確実にこななければなりません。尾張陸上競技協会様を始め、高体連尾張支部の皆様には大変ご迷惑をおかけすることになりますが、皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。

令和3年度は、東海総体が三重県、全国総体が福井県にて開催されます。今年度は大会が少ない中ではありましたが、各種大会において活躍した有望選手が多数います。冬季合宿等はほとんどが中止になってしまいましたが、各学

校においての活動は、制限があまりなかったとお聞きしていますので、冬季練習は順調に行なわれていることと安心しています。多くの選手が大いに活躍をしていただけたことと期待をしています。

全国的に高校生の数が減少する中、愛知県もいよいよ陸上競技に参加する生徒数が減少に転じています。ここ数年で約1000名の減少がありました。このまま減少するのではなく、何とか増やしていけるように努力をしていきたいと思えます。数は力であると考えていますので、皆様方のご協力を心からお願いいたします。

延期になっている東京オリンピックが7月30日から開催されます。2028年には全国高校総体が愛知県に来る予定です。東京オリンピックの開催が決まってから早8年がたっています。あっという間に2028年になります。昭和58年(1983年)に開催されてから48年ぶりの愛知県開催になります。皆さま方のご協力のもと、陸上王国愛知を全国に轟かせるように頑張りましょう。今後ともよろしくお願いいたします。

(石井 哲郎)

## 高体連定通部

コロナ禍での定通陸上

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受ける1年となりました。夏の県大会と全国定通陸上大会が中止になり、愛知県の全国大会6連覇は次年度以降に持

# ホープさん ④

## 林 美希選手 (TSM・岡崎翔南中3年)

林 美希選手は中学入学前から TSM 指導者の下で活動を行なっています。幼少のころからバレエやバレーボールと様々なスポーツに取り組んできました。陸上競技では、スプリント種目でスピードの強化を図り、そこから多岐にわたる種目に意欲的に挑戦し、競技会や大会で泣いたり笑ったりを繰り返してきました。

小学生時代には全国小学生陸上競技交流大会6年100mに愛知県代表として参加しました。全国中学校選手権では、2年生で100mに出場、100mHでは準決勝進出。大阪室内ではU16の60mHで第2位。今年度はコロナ禍のもと、競技会や大会が中止となり、数少ないチャンスをもにするために、学校の部に所属しながらコツコツとクラブチームで練習を積み重ねてきました。そして、2度目の挑戦となった8月の全日本中学生通信陸上愛知県大会女子四種競技では、日本中学記録を更新(3191点)しました。そして、記憶に新しい全国中学生陸上競技大会2020では、3233点(100mH:13"76 走高跳:1m64 砲丸投:11m19 200m:25"64)で彼女自身の日本中学記録を更新しました。さらにTSMでは、今年度4×400mリレー3'55"60のメンバーでもあります。

林 美希選手の強さの秘訣について、彼女は素直に様々な練習に取り組めます。また、幼少からのバレエの経験を活かした身体づくりと、TSMでの動きづくりが原動力になっていると思えます。そして、何より競い合う多くの仲間たちがいることだと思います。どの競技会・大会でも、競い合い高め合い、認め合うことができる仲間たちに囲まれています。その仲間たちや支えてくれるご家族にもいつも感謝ができる彼女です。これから次のステージでも仲間や先輩、諸先生方に感謝し、楽しく、真剣に競技に取り組んでくれることを期待しています。

(TSM:井上主香子)



日本中学記録達成時の写真(保護者提供)

ち越しとなりました。目標を見失い、練習のモチベーションを保つことが難しかったことと思います。そのような中で、秋季大会が開催できたことは定通陸上愛知県選手団にとって大きなプラスとなったと思います。全てがイレギュラーな状況の中で、選手のみならず、大会運営にご協力いただいた先生方に厚く感謝申し上げます。

この冬、緊急事態宣言の影響で、なかなか練習ができていないという声もちらほらと伺いました。来年度も、大会開催に関して見通しが立たない状況が続きます。しかし、この1年を「空白の1年」ではなく、「来年の飛躍までの助走」と捉え、大きく羽ばたけるよう、選手たちには頑張ってもらいたいと思います。

(河村 祐亮)

## 学 連

### 2020 シーズン総括と 2021 シーズンに向けた課題

2020 シーズンは、あらゆるスポーツ活動やイベント開催などの方法について、感染症予防対策をきっかけにこれまでの競技会運営を改善する1年となった。自粛期間を経て、7月の競技会再開以降は、競技に直接関わらない開閉会式などの式典の非実施、実施種目を複数日に分散開催にして人の滞留を避ける、競技関係者以外の競技場内への立入りを控える“無観客”などの対策は、感染症予防には必須となった。これらは、感染症対策が目的ではあったが、元々荒天下の競技会実施時には、選手だけではなく審判員・役員を競技場で長時間拘束することが懸念されていた点でもあったため、不要な待機時間を避け、コンパクト化された競技会運営は、選手や運営者側にとっては負担減につながった。

日常の活動制限は学生アスリートと指導者にとって何らかの制約を生じていたが、競技会再開後のシーズンを振り返ると、2020年も東海地区の学生アスリートが活躍した。前号でも紹介した日本インカレの女子種目では、高松智美ムセンビと加世田梨花（ともに名城大）、男子は蛭子屋雄一（中京大）と伊藤 陸（近大高専）たちが選手権者となった。ロードシーズンに入ると、全日本大学女子駅伝（10月25日、仙台）で4連覇を遂げた名城大は、年末（12月30日）に開催された全日本大学女子選抜駅伝（富士山駅伝）でもその強さを発揮し、大会新で3連覇を達成した。駅伝偏重が指摘されている大学長距離界であるが、名城大の選手は、日本インカレや日本選手権のトラック種目で優勝や入賞する実績を残している。出雲駅伝は中止となったため、男子の全国規模の駅伝は、全日本大学駅伝（11月1日、熱田～伊勢）のみとなった。同駅伝4年連続4回目出場の皇學館大で2区を走った川瀬翔也選手は、学生最後の全日本で区間賞を獲得した。東海地区の選手が同駅伝で区間賞を獲得するのは、30年ぶり（1990年大会、許積勝氏/名商大）であった。一方、チーム順位は17位という結果をおさめ、地区枠に加えて順位枠として2021年大会の東海学連出場枠が2つに増枠することになった。これにより、全日本大学駅伝の出場枠は、男女ともに2枠となり、東海地区内での競争が高まることを期待する。東海学連にとっては、2020年最後の事業となった東海学生駅伝（12月13日、知多）では、名城大の14連覇、皇學館大の4連覇で幕を閉じた。

2021年は、延期された東京オリンピック・パラリンピッ

クの開催年であるが、組織委員会会長が急遽交代となり、感染症対策に加えて社会的問題が浮き彫りとなった。盗撮行為やハラスメント防止、競技団体や関連組織内に女性役員を加入させる等、やっと社会の一部としてスポーツが果たすべき役割やその価値が示されてきた昨今であったが、会長交代となった理由は、非常に残念な事象であった。本誌で個人の思想や価値観を記すことは相応しくないと承知しているが、地区学連を代表する立場としては、中央組織の動向に倣うだけではなく、マナーや倫理観をもった競技者や指導者、関係者などのステークホルダーを育成することの重要性を再確認している。2021年は、好記録の誕生や競技会運営の成功だけではなく、社会におけるスポーツや陸上競技はどうあるべきか、引き続き議論するべきであろう。

(黒須 雅弘)

## 実業団

### 2020 年度後半戦総括及び来シーズンに向けて

2020年度の実業団駅伝では、11月に仙台で行なわれた全日本実業団女子駅伝（クイーンズ駅伝）において豊田自動織機が、アンカーの薮下明音選手がラスト50mで富士加代子選手（ワコール）を抜き返し、3位でのゴールを勝ち取りました。



女子：豊田自動織機

一方、1月に前橋で行なわれた全日本実業団男子駅伝（ニューイヤー駅伝）では、トヨタ自動車が2年連続の準優勝となりました。男女とも、来年こそ優勝していただきたいと思います。



男子：トヨタ自動車

また、2021年度は、オリンピックイヤー。中部実業団に所属する選手には、マラソンで出場権を獲得している服

部勇馬選手（トヨタ自動車）をはじめ、有力選手が多数在籍していますので、オリンピックにさらに多く送り込めるように努力をしていきます。

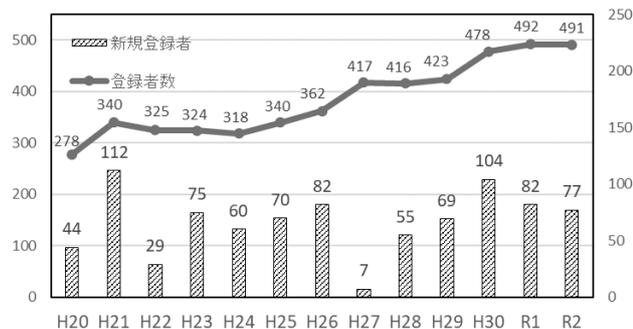
(中村 博之)

## マスターズ陸上

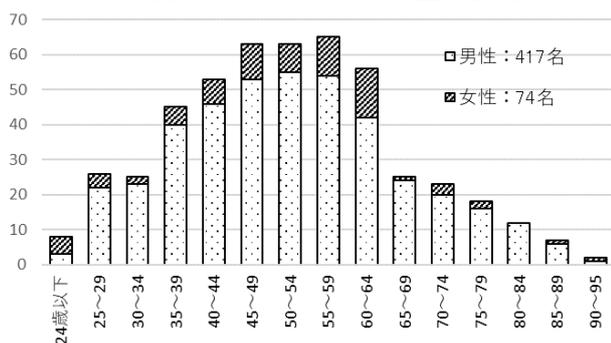
### 心豊かな長寿社会と更なる陸上競技普及の貢献役

令和2年を振り返りますと新型コロナウイルスの脅威により多くの大会やイベントが中止となりました。愛知マスターズとしても毎年実施している県選手権大会や4回の記録会の内3回が中止となり、更には東海マスターズ選手権大会や全日本マスターズ選手権大会も中止となりました。マスターズ陸上は、高齢者の参加者が多くなるため、より一層慎重な判断が必要となりました。そうした中で9月に記録会が開催できたことは、多くの会員に大変喜んでいただき、またコロナ禍での感染防止対策で取り組んだ運営については大変貴重な経験となりました。

年度別会員登録者の状況



2020年愛知マスターズ年代別登録会員数



現在令和3年度に向けて会員登録の受付を開始しておりますが、この数年間は会員も増加傾向となり年間500名を超えようとしております。生涯スポーツとしての陸上競技の普及と振興を図り、いつまでも心身の健全な保持増進につとめ、生きがいのあるライフワークに寄与するため多くの方に陸上競技を楽しんでいただきたいと思います。また高齢になっても生涯現役としてチャレンジするアスリートを応援していきたいと思っております。皆様のご理解とご支援そしてご指導をお願いいたします。令和3年度も引き続き感染防止対策は最優先の課題となりますが、コロナ禍の早期終息を願っています。

(下川 勝彦)

## 競技会報告

### 2020年第2回駅伝強化長距離競技会

2020年11月7日(土)

物産フードサイエンス1969知多スタジアム

成績

#### 男子5000m

1	深谷健斗 (TPAC)	14.36.59
2	石川陽一 (愛知大)	14.42.69
3	藤井智己 (愛知高)	14.43.77

#### 男子5000mW

1	小林貫太 (愛知教育大)	20.56.69
2	寺尾 亮 (名古屋工業大)	22.33.95
3	大島涼賀 (名古屋大)	23.06.83

#### 中学男子3000m

1	佐々木 哲 (TSM)	8.57.14
2	加藤草太郎 (TSM)	9.00.75
3	相地 一夢 (六ツ美北)	9.03.68

#### 女子3000m

1	下山田絢香 (椋山女学園大)	9.37.33
2	安藤 優月 (至学館大)	9.50.68
3	丹羽 琴音 (中部大第一高)	9.51.11

#### 中学女子3000m

1	小嶋 聖来 (六ツ美北)	9:52.35
2	鈴木 愛菜 (六ツ美北)	10:01.70
3	都築優衣華 (吉良)	10:06.18

#### 女子5000mW

4	中川 晴子 (名古屋大)	23.09.11
8	片原未紗音 (豊明高)	25.03.22
12	岸 七海 (西春高)	26.05.42

### 第69回愛知県中学校駅伝大会

2020年11月14日(土)

新城総合公園

中止

### 第60回中部実業団対抗駅伝

2020年11月15日(日)

渥美半島 はなとき通り発着 7区間 80.5km

成績(本県分のみ)

(GR:大会新)

1	トヨタ自動車A	3.51.19 GR
---	---------	------------

(宮脇千博・ビダン カロキ・窪田 忍・西山雄介・大石港与・青木祐人・山藤篤司)

2	トヨタ紡織	3.54.42	GR 5	愛知製鋼	3.56.45
3	愛三工業	3.54.51	GR 6	中央発條	3.57.22
4	トーエネック	3.55.15	9	三菱自動車岡崎	4.19.01
OP	トヨタ自動車B	3.56.36			

区間賞

1区	羽生拓矢 (トヨタ紡織)	34.14	区間新
2区	ビダン カロキ (トヨタ自動車 A)	22.36	区間新
3区	窪田 忍 (トヨタ自動車 A)	34.53	
4区	西山雄介 (トヨタ自動車 A)	44.29	区間新
5区	大石港与 (トヨタ自動車 A)	35.43	区間新
6区	青木祐人 (トヨタ自動車 A)	23.59	区間新
7区	中西玄気 (愛三工業)	34.52	

2020 東海高等学校駅伝競走大会

2020年11月22日(日)

岐阜県庁~羽島市小熊町折返しコース

中止

第15回愛知県市町村対抗駅伝競走大会

2020年12月5日(土)

愛・地球博記念公園 9区間28.7km

中止

2020 愛知陸協駅伝競走大会

2020年12月12日(土)

愛・地球博記念公園 3km 周回コース

成績

一般男子 (5区間 21km)

1	I.A.R.C	1.06.34
(塚本亮司・高橋佳希・緒方 航・松原栄一・木下雅裕)		
2	愛知県庁クラブ	1.09.52
3	守山 35 普連	1.10.03

区間賞

1区	塚本亮司 (I.A.R.C)	18.49
2区	高橋佳希 (I.A.R.C)	18.55
3区	緒方 航 (I.A.R.C)	9.12
4区	松原栄一 (I.A.R.C)	9.30
5区	井上将仁 (守山 35 普連)	9.31

一般女子 (4区間 15 km)

1	AC 一宮	59.20
(坂川真由美・松本香里・前田あすか・横山友里乃)		
2	愛知三好走ろう会	1.10.37

区間賞

1区	坂川真由美 (AC 一宮)	22.24
2区	松本 香里 (AC 一宮)	13.04
3区	前田あすか (AC 一宮)	12.42
4区	横山友里乃 (AC 一宮)	11.10

高校男子 (5区間 21km)

1	愛知	1.07.52
---	----	---------

陸上競技場めぐり⑬

岡崎龍北総合運動場

2020年7月5日に、「岡崎龍北総合運動場」(旧「愛知県岡崎総合運動場」)が、オープンしました。PFI事業\*で県営競技場が、建設から運営まで民間事業化されました。全施設が作り替えられ、陸上競技



龍北スタジアムグラウンド



スタジアム正面



写真判定・記録情報室

場の名称も「岡崎龍北総合運動場」となりました。直走路9レーンの全天候型の第3種陸上競技場で、電子機器も用意され、スタート音は電子音を採用しています。簡単な照明施設もあり、夜間の使用も可能です。直走路のスタート付近とゴール付近の照度は十分に確保され、写真判定装置の使用も可能となっています。また、300mHのポイントも設置されています。オープン当初から利用者数も多く、小中高生の練習のみでなく、勤務を終えた方々の夜間練習や、クラブチームの練習会場として、活気あるものとなっています。

陸上競技の盛んな地区であり、この競技場で練習し、全国で活躍する選手が今まで以上に育つことを期待しています。

※国や地方公共団体の事業コストの削減やより質の高い公共サービスの提供を目指した公共事業の民営参画化。

(櫻井 一美)

(酒井健成・平井 翼・杉戸健太・天野威風・長谷川直哉)

2 岡崎城西 1.08.04 3 豊川工業 1.08.16

## 区間賞

1区 福井 康生 (豊明) 18.54  
 2区 松井 寛翔 (豊田大谷) 18.58  
 3区 杉戸 健太 (愛知高) 9.16  
 4区 永田 将也 (岡崎城西) 9.25  
 5区 マッキーオン将人 (中京大中京) 9.04

## 高校女子 (4区間 15km)

1 光ヶ丘女子 A 54.43

(山口紋奈・雨宮沙空・二村夕希子・雨宮希空)

2 光ヶ丘女子 B 54.50 3 岡崎城西 B 55.33

## 区間賞

1区 坂牧 紗衣 (光ヶ丘女子 B) 21.26  
 2区 山川 紗季 (光ヶ丘女子 B) 10.48  
 3区 二村夕希子 (光ヶ丘女子 A) 10.54  
 4区 雨宮 希空 (光ヶ丘女子 A) 10.52

## 中学男子 (4区間 12km)

1 竜海 A 39.25

(本田丈一郎・判治孝哉・杉田晃大・アルプケルケ ケンジ)

2 矢作 A 40.08 3 城北 A 40.13

## 区間賞

1区 佐々木哲 (TSM) 9.27  
 2区 豊田雄大 (AC一宮 JuniorA) 9.45  
 3区 杉田晃大 (竜海 A) 9.28  
 4区 辻 陽介 (矢作北 A) 9.42

## 中学女子 (4区間 12km)

1 矢作北 A 43.51

(内田詩乃・秋竹凜音・秋竹奏音・本田万結)

2 竜海 A 44.26 3 逢妻 46.00

## 区間賞

1区 中馬蘭奈 (逢妻) 9.52  
 2区 秋竹凜音 (矢作北 A) 10.47  
 3区 壁谷柃奈 (竜海 A) 10.49  
 4区 渡邊 凜 (SET PROJECT) 11.08

## 第14回東海学生女子駅伝対校選手権大会

2020年12月13日(日)

コース: 知多半島半周 5区間 26.6km

## 女子成績 (本県分のみ)

1 名城大 1.28.25

(増淵祐香・加藤綾華・加世田梨花・小森星七・高松智美ムセンビ)

3 中京大 1.35.18 5 東海学園大 1.39.01

4 至学館大 1.38.16 6 椋山女学園大 1.41.48

## 区間賞

1区 増淵 祐香 (名城大) 11.22  
 2区 加藤 綾華 (名城大) 13.59  
 3区 加世田梨花 (名城大) 18.10 区間新  
 5区 高松智美ムセンビ (名城大) 27.41

## 第82回東海学生駅伝対校選手権大会

2020年12月13日(日)

コース: 知多半島一周 7区間 63.5km

## 男子成績 (本県分のみ)

2 愛知工業大 3.19.50

(三浦真和・服部大暉・小林宏輔・深谷涼太・鈴木高虎・荻谷真之介・渡邊大誠)

4 名古屋大 3.21.57 6 愛知大 3.27.47

5 中京大 3.25.28 8 東海学園大 3.29.02

## 区間賞

2区 森川陽之 (名古屋大) 31.16  
 3区 小林宏輔 (愛知工業大) 24.48

## 第28回全国中学駅伝大会

2020年12月20日(日)

希望が丘文化公園

中止

## 第32回全国高校駅伝 (女子)

2020年12月20日(日)

たけびしスタジアム京都発着 5区間 21.0975km

## 成績 (本県分のみ)

13位 安城学園 1.10.22

(磯部早良・竹田実紗・小山愛結・渡辺柚那・杉浦花音)

## 第71回全国高校駅伝 (男子)

2020年12月20日(日)

たけびしスタジアム京都発着 7区間 42.195km

## 成績 (本県分のみ)

28位 豊川 2.06.40

(安藤圭佑・大塚直哉・浅井皓貴・吉村聡介・小林亮太・中野倫希・近田陽路)

## 第52回元旦競歩大会

2021年1月1日(金)

物産フードサイエンス1969知多スタジアム付設競歩路コース

成績(本県分のみ)

一般大学男子 20kmW

1 小林 貴太(愛知教育大) 1.28.41

一般大学男子 10kmW

2 山田 華生(南山大) 50.14

3 尾崎 雄大(トヨタ自動車) 59.30

高校男子 10kmW

1 山中遼平(名古屋南) 50.16

3 池田陸哉(名古屋南) 53.42

4 服部永遠(佐織工業) 53.51

5 齋藤琉空(佐織工業) 57.17

高校女子 5kmW

1 片原末紗音(豊明) 25.58

2 岸 七海(西春) 26.24

## 第65回全日本実業団駅伝

2021年1月1日(金)

群馬県庁発着 7区間 100.0km

成績(本県分のみ)

第2位 トヨタ自動車 4.49.55

(田中秀幸・ビダン カロキ・西山雄介・窪田 忍・服部勇馬・青木祐人・大石港与)

第15位 トヨタ紡織 4.55.30

第21位 トーエネック 4.57.36

第25位 愛知製鋼 4.57.50

第27位 愛三工業 4.58.14

第29位 中央発條 4.58.46

区間賞

5区 服部勇馬(トヨタ自動車) 46.23

## 第39回全国都道府県対抗女子駅伝競走大会

2021年1月17日(日)

京都市

中止

## 第26回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会

2021年1月24日(日)

広島市

中止

## 第10回愛知競歩競技会

2021年2月20日(土)

パロマ瑞穂スタジアム

成績

一般・高校男子 5000mW

1 齋藤琉空(佐織工業高) 23.41.80

2 冨田 諒(名古屋大) 23.50.46

3 足立真崇(松蔭高) 23.52.46

一般・高校女子 5000mW

1 柴田 葵(至学館大) 25.04.12

2 三浦萌乃果(旭野高) 27.27.11

3 西本 凧沙(一宮西高) 29.26.84

一般・高校男子 10000mW

1 大島涼賀(名古屋大) 48.39.93

一般・高校女子 10000mW

1 則武桃佳(中部学院大) 59.33.52

## 第43回読売犬山ハーフマラソン

2021年2月28日(日)

中止

## 名古屋ウィメンズマラソン

2021年3月14日(日)

パシテリンドーム ナゴヤ発着



表彰式の様子 陸連 友永副会長から松田瑞生選手へ

ウィメンズマラソン(エリートの一部)

1	松田 瑞生(ダイハツ)	2.21.51
2	佐藤早也伽(積水化学)	2.24.32
3	松下 菜摘(天満屋)	2.26.26 新人賞
4	和久 夢来(ユニバーサルエンターテインメント)	2.26.30
5	田中 華絵(資生堂)	2.26.49
6	赤坂よもぎ(スターツ)	2.26.51
7	上杉 真穂(スターツ)	2.27.03
8	加藤 岬(九電工)	2.27.20

## ホイールチェアマラソン (10km)

1	喜納 翼	22.58
2	安川祐里香	26.40
3	見崎 真未	32.18
4	渡辺 陽子	33.30
5	増田 汐里	33.52
6	田中 照代	33.59

### 愛知選手権女子マラソン

2021年3月14日(日)  
バンテリンドーム ナゴヤ発着

1	中村 瑠花 (小島プレス)	2.47.29
2	横山友里乃 (AC一宮)	2.52.40
3	坂川真由美 (AC一宮)	2.55.14
4	堀木なお子 (R2中日本)	2.56.29
5	佐橋 京子 (庄内RT)	2.57.03
6	浅野ひろみ (庄内RT)	2.57.35

### 名古屋シティマラソン (ハーフマラソン)

2021年3月14日(日)  
バンテリンドーム ナゴヤ発着

## 男子の部

1	酒井 一	1.05.59
2	門出 康孝	1.06.58
3	渡邊 祐二	1.07.24
4	柴田 憲志	1.07.52
5	原田 拓	1.08.07
6	清水 文晶	1.08.17

## 女子の部

1	後藤 梨奈	1.26.05
2	中村 有貴	1.26.45
3	松井恵里奈	1.30.17
4	坂東 千雅	1.32.18
5	外尾 修子	1.32.58
6	赤松 祥江	1.34.55

### 理事会等会議報告

○12月理事会 令和2年12月8日(火) 18:00 教育会館

## 1. 協議事項

- ① 各種栄章候補者について
- ② 愛知県スポーツ協会被表彰者について
- ③ 審判員昇格候補者について
- ④ その他

## 2. 報告事項

- ① 令和2年度主要競技会について
- ② 日本陸連登録料の新設について
- ③ 陸連関係会議報告
- ④ 各専門委員会報告
- ⑤ 各陸協、協力団体より

○1月理事会 令和3年1月

書面決済にて実施

## 1. 協議事項

- ① 2021年度年間競技日程について
- ② 2021年度登録料の変更について

## 2. 報告事項

- ① マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知について  
(水野 隆夫)

### 栄章

## 令和2年度愛知県スポーツ協会表彰

以下の方々が表彰されました。おめでとうございます。

## ・功労賞

竹前 正直

## ・優秀選手賞

(公認日本記録樹立)

山西 利和

(日本選手権大会等優勝)

山口 浩勢	河田 航典	鈴木 大河
館野 峻輝	香山 勇輝	稲川 慧亮
高橋 遼将	桂木 大和	岸本 優花
倉橋 美穂	須崎 心優	蔵重 みう
大塚 直哉	杉田 晃大	小嶋 聖来
林 美希		

(水野 隆夫)

### お く や み

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。(敬称略)

逝去者氏名	逝去年月	支部名
翠 忠明	2・6	名古屋
梅村 清弘	2・11	名古屋
大竹 太	3・1	東三河

### 編集後記

◇コロナ禍のもと、万全の対策を講じてのウィメンズマラソンの成功は、全国へ発信できる模範となるだろう。  
◇工夫して、何としても東京オリンピックの実施を切に願う。◇いろいろな意味の変革期を乗り切って行きたい。

### 編集委員

大西 敏功 小坂 拓 鈴木人呂信 竹前 正直  
茶谷 和彦 新見 精三 野口 一昭 兵藤 重二  
山下ゆかり